



各地から匿名寄金

道新福祉基金通じ奉仕

燃え続ける

善意の灯

「さとう給料日でしたので、そくお送りします。かねてから私の願ひだ。た社会福祉への奉仕も、こちらに纏めてあげよう。毎月ほんの少額ですが、どうか恵まれない方たちのために役立ててください」と二十四日、この手紙とともに現金千円が北海道新福祉基金にまた送られてきた。

差し出し人は「M子」とある。と同基金に寄付金を送り届けていけ。手紙の消し印は砂川市。手紙をこつた善意は数多い。たとえば、三月がきますと卒業しては、北海道新聞への投稿欄に載ってや一年、とあるから昨春高校を出、得た簿謝を三百円、六百円と毎月で就職した娘さんらしく、昨年九のよう送って、くる。網走管内訓子月から毎月欠かさず五百円、千円、府町の、アトム、氏。同基金が創

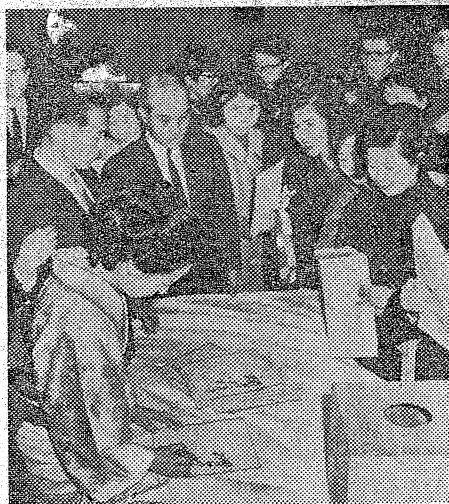
設された昭和四十年四月から二年間、毎月千円の寄付を続けてきた大坂府のT・Uさん（最初江別市から）、C・Bさんなどが匿名で。また滝川市の笹谷仁次郎、和子、友子、文子さんは昨年二月から纏めて千円を、札幌市の立川工業では昨年五月から

サイン会の益金を寄付

池内淳子さんら

二十四日、道新ホールで行なわれた東宝映画「女と味噌汁」の試写会に、舞台のひさのたぬきと主演女優、池内淳子さんが、試写会終了後、恵まれない人たちのために、一同会場でサイン会を催した。

なじみの深い人気女優と監督のサイン会とあって、ファンがどよよめかけ会場は大変な混雑。時間がないた約二十分、それでも百枚を超える色紙にサインした。その益金一萬一千円は、この日、たっぷりの北海道新聞社会福祉基金に寄付した。



0.1.25